

令和1年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1495200188	事業の開始年月日	平成24年7月1日
		指定年月日	平成24年7月1日
法人名	メディカル・ケア・サービス株式会社		
事業所名	愛の家グループホーム中原下小田中		
所在地	( 211-0041 )		
	神奈川県川崎市中原区下小田中3-28-18		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2 ユニット
自己評価作成日	令和1年11月19日	評価結果 市町村受理日	令和2年4月9日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	<a href="http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/">http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/</a>
----------	---

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当ホームでは「その人らしさ」を大切にしたいケアを、日々、心掛けております。認知症や心身の障害があっても、いついかなる時でも、人が人らしくあり続ける為、施設に入居される以前と同じように自分らしいライフスタイルで生活して頂く為、入浴や散策、余暇活動等の時間設定を極力設けず、お一人お一人の個性や趣向を重視した「したい時にしたい事ができる環境」作りも進めております。又、地域に根付いた認知症対応型施設として、近隣の地域活動にも積極的に参加する事で交流を図るとともに、様々な機会を通じて新たな出会いや触れ合いを大切に行きます。

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階		
訪問調査日	令和1年12月21日	評価機関 評価決定日	令和2年3月21日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所は、JR南武線「武蔵中原」駅から徒歩15分ほどの、マンションや古くからの住宅が混在した地域にあります。スーパーマーケットや小学校も近くにあります。運営法人は株式会社で、グループホームや有料老人ホームなどの福祉事業を全国展開しています。

<優れている点>

地域密着型のグループホームとして、地域との積極的な関わりがあります。近隣の保育園とは、子ども達とふれあい遊びを楽しんでいます。園行事への誘いもあります。また、利用者が手作りした雑巾や折り紙を散歩の途中で保育園に届けています。その他、中学生の体験学習の受け入れ、ボランティア（コーラス、フラダンス、体操など）との交流もあります。地域の情報は、運営推進会議を通して自治会々長や民生委員から得ています。また、利用者の「その人らしさ」を大切に考え、したい時にしたいことができる環境作りを努めており、「買い物に行きたい」「タバコが吸いたい」「酒が飲みたい」など本人が発した思いや意向に沿うように配慮しています。「毎日の散歩」「週1回近所のスーパーに買い物に行く」などをケアプランに反映し、支援しています。

<工夫点>

サービス内容実施記録にプランの実施状況を毎日記録しています。実施することを基本としているので、実施ができなかった時の状況や理由をモニタリングやアセスメントに繋げることができています。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1～14	1～7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15～22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23～35	9～13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36～55	14～20
V アウトカム項目	56～68	

事業所名	愛の家グループホーム中原下小田中
ユニット名	1階 せせらぎユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	運営理念をホーム全体で共有し、理念の掲示をしている。	「その人らしさ」「心を込めたサービス」「地域との関わり」を主旨とした法人の運営理念を共有しています。職員はクレドカードを携行し、常に確認ができるようにしています。毎月の会議で、実践にずれがないか話し合っています。	事業所独自の具体的な理念や目標を作成する意向を持ち、検討を継続しています。今後の取り組みが期待されます。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域イベントへの参加・近隣保育園等との交流を図っております。	地域の行事参加をはじめ、保育園児との交流、中学生の体験学習、ボランティア（コーラス、フラダンス、体操など）の受け入れなど、活発な地域交流を展開しています。地域の婦人会からの手作りお手玉はレクリエーションなどで楽しんでいます。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議を通して、認知症について理解を深めて頂けるよう研修・勉強会を行っております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	活動報告後、話し合いの時間を設けて、意見や提案の吸い上げに努めております。	家族、自治会々長、民生委員、地域包括支援センター職員の出席を得て、運営推進会議を定期的開催しています。事業所の運営状況・事故・行事などの報告のほか、職員の研修の取り組みをビデオ上映するなど、会議内容の工夫をしています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議の他、管理者が定期的に区役所等に赴き、ホームの活動や状況報告を行っております。	運営推進会議の議事録を郵送し、事業所運営の現状について知ってもらっているほか、管理者が定期的に区役所に赴いており、困難事例など相談できる関係をつくっています。中原区グループホーム連絡会の会合でも連携を図っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束に関する研修を定期的実施し、ホーム全体での理解に努めております。チェックシートを用いたチェックを定期的実施し、身体拘束をしないケアに努めております。	身体拘束廃止委員会活動や内部研修を、身体拘束をしないケアについて話し合い、および学びの機会としています。3ヶ月ごとにユニット単位で、法人の「虐待・不適切ケア」チェックシートを用いて、セルフチェックを行い、振り返りをしています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている。	身体拘束同様、内部研修を定期的実施しホーム全体での理解に努めております。チェックシートを用いたチェックを実施し、虐待防止の徹底を図っております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	定期的に行っている、内部研修や本社より指導して頂く研修や講義を行っております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には契約書や重要事項説明書の読み合わせや質疑に充分時間を取り、ご家族様や御本人様の理解を図っております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議を始め、ご意見ボックスを設置し、御意見と御要望の吸出しに努めております。	意見箱、面会時、毎年実施する法人の満足度アンケート、運営推進会議など、さまざまな方法で意見、要望を把握し、改善する仕組みをつくっています。管理者以下職員は、家族の来訪時に、家族が求めていることを感じ取るように努めています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	スタッフとの面談を定期的に行い、普段、聞き出しにくい意見や提案を聞き取る環境作りを行っている他、ユニット会議やホーム会議でも発言の場を設けております。	全員出席を基本としたホーム会議とユニット会議を毎月開催しています。職員の意見から、薬局を変更し、より良い服薬支援に繋げています。管理者やリーダーとの面談も年3回行われ、意見や意向を把握しています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	上記同様、スタッフの面談での対応や各スタッフの意見の吸出しを行い、職場環境や勤務条件の整備に努めております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	定期的なホーム内研修の他、社内と社外研修にも精力的に参加を促し、各スタッフ、及び、ホーム全体のスキルアップを進めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	定期的な同地域内でのグループホーム連絡会を開催しており、交流を図ると共に、サービスの質の向上に努めている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	契約前にアセスメントや契約時等に十分な時間を確保し、御本人様からの「言葉」をできるだけ引き出すように努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	事前に聞き取りの時間を大切にし、御本人様同様、御家族様の声を大切にするように心掛けております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	当方からは強要はせず、選択肢や方法を提示し、最終的な御判断は、御本人様と御家族様に委ねる形を取っております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	「スタッフと入居者様が一緒に生活を築き上げていく」という考え方を持って、一方的な介護ではなく、入居者様が主となり、それらを支える支援を大切にしております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	御家族様とは、可能な限り密接に連絡を取りながら、御本人様を支えるチームとしての関わりを心掛けております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	御家族様と連絡を取り、病院や外出等、可能な限り馴染みの町、馴染みの場所を大切に、日課作りを進めております。	入居時のアセスメントや家族からの情報で、利用者の生活歴や馴染みの関係を把握し、家族のほか、友人の面会も歓迎しています。馴染みの場所への外出は家族の協力を得ています。電話の取り次ぎ、手紙のやりとり、新聞購読など継続の支援をしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	生活を共にする同フロア内の入居者様同士は勿論の事、フロア間の交流も大切にし、施設一体で支えあう事の出来る環境を築いております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去された方やその御家族様に対してのケアも行っております。中には、お礼や感謝の言葉も頂いております。今後も、その場で切れてしまう関係ではなく、いつまでも繋がっていただける環境を築いております。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	その方の生活全般において、全ての決定権は、御本人様にあるという、基本を大切にし、その都度、アセスメントやケアプランを作成しております。	「買い物に行きたい」「タバコが吸いたい」「お酒が飲みたい」など本人が発した思いや意向に沿うよう努めています。職員との会話、本人の行動で気づいたことは連絡ノートに記録し、共有しています。ケアプランに反映することもあります。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前のアセスメントは勿論ですが、入居後も、御本人様や御家族様から聞き取りを行う「知る努力」を怠らないように努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ケアプランのモニタリングを介護記録と連動させて行う事で、日々、現状の把握が行えるように工夫しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	御家族様、担当医、スタッフとの情報共有を行いながら、検討を重ねた上で介護計画を作成しております。	本人・家族の意向を反映したケアプランは、長期目標6ヶ月、短期目標3ヶ月で立てています。サービス内容実施記録にプランの実施状況を毎日記録し、モニタリングをしています。状況が大きく変化した場合は、その都度計画を見直しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	記録を行い、スタッフ間で情報共有を行いながら、介護計画の見直しをケアプランに落とし込んでおります。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	御本人様の希望や御家族様の要望を理解した上で、固定観念に囚われない対応を心掛けております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域の祭りやイベントへの参加を行っております。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	提携病院の強要等は、一切行わず、選択肢の一つとして提示し、かかりつけ医の選択を推奨しております。	かかりつけ医は自由に選べますが、現在、全員が事業所の協力医療機関を選択し、月2回の往診を受けています。また、週1回、訪問看護ステーションの看護師が利用者の体調をチェックしています。必要な人は歯科の往診を受けることもできます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週に1回、訪問看護が見えます。訪問看護と情報を共有し、担当医との連携を図りながら細やかなケアに努めております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	主に管理者やケアマネージャーが面会に訪れ、面会と病院関係者との情報の収集と状況の把握に努めております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	医療関係や御家族様、当ホーム関係者が一丸となってチームと成し、具体的な方向性をしっかり話し合い、支援に取り組んでおります。ターミナルケアもご家族様の要望があれば積極的受け入れられるよう対応しております。	入居時に、重度化した場合の対応と終末期の介護にかかる指針について説明し、利用者及び家族と同意書を交わしています。看取り期には改めて指針に基づいて話し合い、方針を共有しています。看取りはユニット単位で職員全員が適切に対応できるように備えています。今年度看取りの事例があります。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	様々な研修に参加する事で、実践力の向上と技術の発展に努めております。急変、事故時の対応をマニュアル化し緊急時の対応に務めております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	定期的に防災訓練や内部、若しくは外部の研修に参加し、万が一の状況に備えております。	年2回、夜間想定を含む消防避難訓練を行っています。職員による自衛消防組織を編成しており、通報、一次消火、避難誘導などを勤務シフトに応じてどの職員が担当するかが明確になっています。また、屋外倉庫に水や食料の備蓄7日分を保管しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	声かけや接遇に関しては、常識的に指導や勤勉に励み、御本人様の存在に対して、尊厳を尊重した接し方をしております。	個人情報及びプライバシーの保護について定期的に内部研修を実施しています。また、利用者の名前の呼び方で問題はないか、声かけなしで介助、入室、私物を触るようなことがないか、職員がチェックリストで自己点検する仕組みを導入しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	常に、御本人様が選択する自由を持っていることを忘れることなく、接するよう指導、教育を行っております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	当施設は、スタッフにとっては職場であるも、ご入居様は生活の場であることを認識し、業務に従事しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご入居様の希望に添えるように、お化粧品や、ネイルなどを実施しております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の準備や後片付け等、出来るだけ、ご入居様と一緒に参加する事で、生活の場での役割を提供しております。	通常、外部業者が提供する調理済食品をメインに使用していますが、週に1回は専門の調理スタッフが手作りしています。利用者が盛り付けや食器洗いを手伝うこともあります。また、各利用者が最低でも月に1回は外食する機会を設けるように配慮しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	記録の確認やチェック表の作成など、お一人お一人の食事・水分摂取量の把握に努めております。また嚥下状態などに応じて個別に食事形態を変えて提供しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	ご入居者様、お一人お一人にあった口腔ケアを行っております。必要に応じて歯科往診による歯科医の診察もして頂いております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	ご入居者様、それぞれの排泄に関わる問題を把握し、理解した上で、それぞれにあった方法で支援しております。	利用者の水分摂取量や排泄時刻を記録し、介助の必要な人には排泄のペースを踏まえてトイレに誘導しています。夜間、トイレまで移動するのが難しくなった人には室内にポータブルトイレを設置するなど、できるだけオムツは使用しない方向で支援しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	薬に頼る前に食事療法や運動療法等を取り組み、積極的に提供しております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	ご入居者様お一人お一人の好みに合わせ、入浴を楽しんで頂けるように提供しております。入浴剤を使用するなど入浴を楽しんで頂ける工夫もしております。	最低でも週2回入浴しています。浴槽の湯は毎回入れ替え、好みの入浴剤を使うなど、快適な入浴ができるよう配慮しています。日程は利用者の希望を尊重し、同性介助のできる日にしたりもしています。拒否の強い時は清拭に変えるなど柔軟に対応しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	ご入居者様お一人お一人に沿った睡眠状況を把握し、最良な睡眠を提供できるように提供しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	担当医や看護師との連携を密に図り、慎重且つ正確な対応に努めると共に、スタッフへの薬の効果や副作用の周知を図っております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	その方らしい生活を行えるように、個性や趣向を尊重したケアを目指して取り組んでおります。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	定期的に外気浴や散歩、買い物などのサービスを提供しております。また家族の協力を得ながら、外出も積極的に支援しております。	散歩や駐車場での日光浴など、利用者ができるだけ外気に触れるよう支援しています。利用者ごとのサービス内容実施記録で「毎日の散歩」や「週1回近所のスーパーに買い物に行く」などの外出支援の項目について、職員が毎日実施状況をチェックしています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ホーム管理とさせて頂いておりますが、ご入居者様が望まれた場合、お預かりしている金額より、自由に買い物等を楽しんで頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	御本人様が希望された場合、電話や手紙等の支援を行っております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	分かりやすい表示を掲示し、ご入居者様が混乱しないように努めております。又、季節に応じたフロア内の飾りなども行っております。	リビングは大きなテーブル3台をゆったりと配置し、車イスの人も動きやすいレイアウトとなっています。リビングや廊下の壁面には利用者の写真や習字、ちぎり絵などの作品を展示しており、クリスマスなど季節の飾り付けもしています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	部屋は個室になっており、お一人で過ごせる環境にあります。またフロアはいつでもご自由に使用できる状況であり、ご自由に使用して頂いております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	永く使用された物や愛着のある物を多く持参されることで、入居初日より快適に過ごして頂ける工夫を行っております。	備え付けのエアコンとクローゼット以外は、本人が生活しやすい空間づくりを第一に、火器類や刃物など危険物を除いて自由に持ち込むことができます。利用者は、家族の写真や位牌、テレビなどを置いています。ベッドは持ち込み又はレンタルになります。布団を敷く事も可能です。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	施設内の様々な環境や道具を活かすことで、安心して安全な生活を送って頂いております。		

事業所名	愛の家グループホーム中原下小田中
ユニット名	2階 パンジーユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	運営理念をホーム全体で共有し、理念の掲示をしている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域イベントへの参加・近隣保育園等との交流を図っております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議を通して、認知症について理解を深めて頂けるよう研修・勉強会を行っております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	活動報告後、話し合いの時間を設けて、意見や提案の吸い上げに努めております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議の他、管理者が定期的に区役所等に赴き、ホームの活動や状況報告を行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束に関する研修を定期的実施し、ホーム全体での理解に努めております。チェックシートを用いたチェックを定期的実施し、身体拘束をしないケアに努めております。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている。	身体拘束同様、内部研修を定期的実施しホーム全体での理解に努めております。チェックシートを用いたチェックを実施し、虐待防止の徹底を図っております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	定期的に行っている、内部研修や本社より指導して頂く研修や講義を行っております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には契約書や重要事項説明書の読み合わせや質疑に充分時間を取り、ご家族様や御本人様の理解を図っております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議を始め、ご意見ボックスを設置し、御意見と御要望の吸出しに努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	スタッフとの面談を定期的に行い、普段、聞き出しにくい意見や提案を聞き取る環境作りを行っている他、ユニット会議やホーム会議でも発言の場を設けております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	上記同様、スタッフの面談での対応や各スタッフの意見の吸出しを行い、職場環境や勤務条件の整備に努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	定期的なホーム内研修の他、社内と社外研修にも精力的に参加を促し、各スタッフ、及び、ホーム全体のスキルアップを進めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	定期的な同地域内でのグループホーム連絡会を開催しており、交流を図ると共に、サービスの質の向上に努めている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	契約前にアセスメントや契約時等に十分な時間を確保し、御本人様からの「言葉」をできるだけ引き出すように努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	事前に聞き取りの時間を大切にし、御本人様同様、御家族様の声を大切にするように心掛けております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	当方からは強要はせず、選択肢や方法を提示し、最終的な御判断は、御本人様と御家族様に委ねる形を取っております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	「スタッフと入居者様が一緒に生活を築き上げていく」という考え方を持って、一方的な介護ではなく、入居者様が主となり、それらを支える支援を大切にしております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	御家族様とは、可能な限り密接に連絡を取りながら、御本人様を支えるチームとしての関わりを心掛けております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている。	御家族様と連絡を取り、病院や外出等、可能な限り馴染みの町、馴染みの場所を大切に、日課作りを進めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	生活を共にする同フロア内の入居者様同士は勿論の事、フロア間の交流も大切にし、施設一体で支えあう事の出来る環境を築いております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去された方やその御家族様に対してのケアも行っております。中には、お礼や感謝の言葉も頂いております。今後も、その場で切れてしまう関係ではなく、いつまでも繋がっていただける環境を築いております。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	その方の生活全般において、全ての決定権は、御本人様にあるという、基本を大切にし、その都度、アセスメントやケアプランを作成しております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前のアセスメントは勿論ですが、入居後も、御本人様や御家族様から聞き取りを行う「知る努力」を怠らないように努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ケアプランのモニタリングを介護記録と連動させて行う事で、日々、現状の把握が行えるように工夫しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	御家族様、担当医、スタッフとの情報共有を行いながら、検討を重ねた上で介護計画を作成しております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	記録を行い、スタッフ間で情報共有を行いながら、介護計画の見直しをケアプランに落とし込んでおります。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	御本人様の希望や御家族様の要望を理解した上で、固定観念に囚われない対応を心掛けております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域の祭りやイベントへの参加を行っております。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	提携病院の強要等は、一切行わず、選択肢の一つとして提示し、かかりつけ医の選択を推奨しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週に1回、訪問看護が見えます。訪問看護と情報を共有し、担当医との連携を図りながら細やかなケアに努めております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	主に管理者やケアマネージャーが面会に訪れ、面会と病院関係者との情報の収集と状況の把握に努めております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	医療関係や御家族様、当ホーム関係者が一丸となってチームと成し、具体的な方向性をしっかり話し合い、支援に取り組んでおります。ターミナルケもご家族様の要望があれば積極的受け入れられるよう対応しております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	様々な研修に参加する事で、実践力の向上と技術の発展に努めております。急変、事故時の対応をマニュアル化し緊急時の対応に務めております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	定期的に防災訓練や内部、若しくは外部の研修に参加し、万が一の状況に備えております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	声かけや接遇に関しては、常識的に指導や勤勉に励み、御本人様の存在に対して、尊厳を尊重した接し方をしております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	常に、御本人様が選択する自由を持っていることを忘れることなく、接するよう指導、教育を行っております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	当施設は、スタッフにとっては職場であるも、ご入居者様は生活の場であることを認識し、業務に従事しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご入居者様の希望に添えるように、お化粧品や、ネイルなどを実施しております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の準備や後片付け等、出来るだけ、ご入居者様と一緒に参加する事で、生活の場での役割を提供しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	記録の確認やチェック表の作成など、お一人お一人の食事・水分摂取量の把握に努めております。また嚥下状態などに応じて個別に食事形態を変えて提供しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	ご入居者様、お一人お一人にあった口腔ケアを行っております。必要に応じて歯科往診による歯科医の診察もして頂いております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	ご入居者様、それぞれの排泄に関わる問題を把握し、理解した上で、それぞれにあった方法で支援しております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	薬に頼る前に食事療法や運動療法等を取り組み、積極的に提供しております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	ご入居者様お一人お一人の好みに合わせ、入浴を楽しんで頂けるように提供しております。入浴剤を使用するなど入浴を楽しんで頂ける工夫もしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	ご入居者様お一人お一人に沿った睡眠状況を把握し、最良な睡眠を提供できるように提供しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	担当医や看護師との連携を密に図り、慎重且つ正確な対応に努めると共に、スタッフへの薬の効果や副作用の周知を図っております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	その方らしい生活を行えるように、個性や趣向を尊重したケアを目指して取り組んでおります。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	定期的に外気浴や散歩、買い物などのサービスを提供しております。また家族の協力を得ながら、外出も積極的に支援しております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ホーム管理とさせて頂いておりますが、ご入居者様が望まれた場合、お預かりしている金額より、自由に買い物等を楽しんで頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	御本人様が希望された場合、電話や手紙等の支援を行っております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	分かりやすい表示を掲示し、ご入居者様が混乱しないように努めております。又、季節に応じたフロア内の飾りなども行っております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	部屋は個室になっており、お一人で過ごせる環境にあります。またフロアはいつでもご自由に使用できる状況にあり、ご自由に使用して頂いております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	永く使用された物や愛着のある物を多く持参されることで、入居初日より快適に過ごして頂ける工夫を行っております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	施設内の様々な環境や道具を活かすことで、安心で安全な生活を送って頂いております。		

令和元年度

### 目標達成計画

事業所名 愛の家グループホーム中原下小田中

作成日： 令和 2年 4月 7日

#### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	会社全体としての理念はあるが事業所独自の理念がない。	会社全体の理念とは別に事業所としての独自の理念をつくる。	事業所独自の理念を掲げて理念に準じた支援・介助を実施する。	2ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月